

## 日本バドミントン学会 設立趣意書（案）

### 1. 趣旨

日本の少子高齢化が進む一方で、昨今のスポーツ界は一定の活気を保っています。トップレベル競技者の国際的な活躍はもちろんですが、老若男女がさまざまなスタイルでスポーツを楽しんでいます。

バドミントン界もトップレベル競技者の世界的な活躍が顕著であること、ジュニア世代の日本バドミントン協会への登録者数が増加していること、シニア世代やパラ・バドミントンの活動が活気を得ていることなど多様な広がりを伴った発展が認められます。そこにはバドミントンが競技的に頂点を目指すという上昇志向に基づく広がりだけでなく、さまざまな人びとがさまざまなスタイルで親しむことのできるスポーツとして着実に発展してきた姿を認めることができるでしょう。

発展の背景にはいくつもの要因が考えられますが、バドミントン関連団体による科学的な知見の探求、日本人のみならず外国人も含む指導者の実践的な知見と技術の創造、さらにはテクノロジー活用の可能性を示した企業や個人の存在などがあったことに疑いの余地はないでしょう。

一方、バドミントンに関わる「知」について考えてみたとき、そこには体系化された知と必ずしも体系化されていないノウハウのようなものが存在するように思われます。研究によって実証あるいは検証されたのちに体系化された知から指導者や選手の経験に基づく知まで、じつに多くの「知」があることでしょう。しかし、これらの「知」について関係者が一堂に会して活発に議論し、バドミントンの本質を探究する場があったか、あるいは、バドミントンに関わる「知」に誰でもが比較的手軽にアクセスすることができ、かつ携帯可能な形式で蓄積、保存している拠点的な場があったかと問うたとき、残念ながら、そうではなかった現実を直視しないわけにはゆきません。つまり、バドミントンの発展を支えてきた多種多様な「知」が、一部の個人やコミュニティの中で継承されているに過ぎない状況が続いてきたこと、そして、このことは、「知」が時間の経過とともに消失してしまう可能性の高い状態でしか保存されてこなかったことを意味します。

いま私たちの周囲にはじつに多くのバドミントンの「知」が溢れていることが確認できましたが、現在のところ、それらが関係者の共有財として、また、後世に確実に残すことのできる形式として存在していないことにも気づきます。日本中に点在してしまっている多様な「知」を、継承可能なものとして、また、より多くのバドミントン関係者に還元可能なものとして集約していくことや、それらの「知」を活かしながら、さらなる「知」を創造、発信していくことは日本バドミントン界の喫緊の課題と考えられます。

そこで、日本バドミントン学会は、将来の学術研究団体登録を目指し、バドミントンを包括的に議論していくコミュニティとしてさまざまな活動を展開してゆきます。しかし、単なる研究者コミュニティとして存在するだけではなく、関係するあらゆる人びとの興味や関心を受け入れて活動を展開していくことや、既存のスタイルに依拠した研究ばかりでなく既存の学術研究団体等では受け入れられにくい実践者の経験則などについても積極的に受け入れることを根幹に据えた組織を目指します。このことを通じて、コーチング、教育および社会活動と研究を有機的に連関させることの

できる組織を構築します。

## 2. 考えられる事業

具体的には次のような事業を構想しているところです。これらはいずれも現代社会において個人の裁量で実現していくことが困難なものばかりで、適切に構成された組織だからこそ実践できるものとなります。

これらの構想が具現化したときには、今日のバドミントン界が抱えているいくつかの課題が解消され、バドミントン界の確かな発展、さらにはスポーツ界全体の発展に大きく寄与できるものと考えております。

- ・ 定期的な学会大会の開催（既存の研究スタイルのみならず、実践的内容、事例研究も積極的に受け入れる。）
- ・ 定期的な学術誌などの発行（学会大会同様）
- ・ 講演会、ワークショップの開催（実践報告を通じた暗黙知の共有、他の関係団体との連携）
- ・ 国際的な活動（国際組織との協働。学術および実践を融合した国際的なイベントの招聘や開催）
- ・ 情報センターの構築（研究資料、基礎データの収集、蓄積および公開/「知」の共有と提供）
- ・ 科学的知見の教育現場への還元（小中高教育および大学体育等）
- ・ 若手研究者の発掘と育成（研究助成等）
- ・ プロジェクト研究の創出と支援
- ・ その他

日本バドミントン学会をバドミントン界の発展に資する交流の場として設立すべく、ここに多くのバドミントン関係者にご協力を仰ぎたいと考える次第です。

## 3. 設立にいたるまでの経過

平成 29 年 8 月 第 1 回日本バドミントン学会設立準備会

平成 29 年 10 月 第 2 回日本バドミントン学会設立準備会

平成 29 年 12 月 第 3 回日本バドミントン学会設立準備会

平成〇年〇月 \_\_\_\_\_

平成 30 年 3 月 18 日

日本バドミントン学会 設立準備委員会